



2026年5月14日

各 位

会 社 名 不 二 サ ッ シ 株式会社
代表者名 代表取締役社長 江崎 裕之
(コード：5940、東証スタンダード)
問合せ先 管理本部経営管理部長 西川 利一
(TEL：03-6867-0777)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、下記のとおり決定しアップデートしましたので、お知らせいたします。詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

添付資料：「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」

以 上

(アップデート : 2026/5/14)

資本コストや株価を意識した経営の実現 に向けた対応について

1. 2025年度業績と現状分析

◎ 2025年度業績

- ・ 中期経営計画の初年度である2025年度は、主力のビル建材事業及びリニューアール事業の業績は堅調に推移しており、※1 VE・CD提案強化等の結果、営業利益は増益となりました。
形材外販事業では主に加工品の物量減少の影響から減益となりましたが、全社営業利益は増益となり計画を上回る着地となりました。 ※1 VE/CD : VE (Value Engineering : 価値向上を伴う原価低減) およびCD (Cost Down : コスト低減) 活動。
- ・ その結果、ROEについても目標の8%以上をクリアしております。

(単位: 百万円)

	2024 年度 (2025/3)	2025 年度 (2026/3)	2026年度 計画	2027年度 計画
売上高	104, 754	101,470	103, 000	110, 000
営業利益額	2, 475	2, 778	2, 000	3, 300
営業利益率	2. 36 %	2. 74 %	1. 94 %	3. 0 %
純資産	23, 591	25, 769	—	27, 000 程度
自己資本比率	27. 7 %	29. 6 %	—	—
1株あたり配当	25 円	※2 30 円	30 円	30+α 円
ROE	10. 1 %	8. 3 %	8.0%以上	8.0%以上

売上高は、
工期の延長や物量減少などの影響を受け減収となりました。

営業利益は、
建材事業等において、高付加価値徹底等により増益となりました。

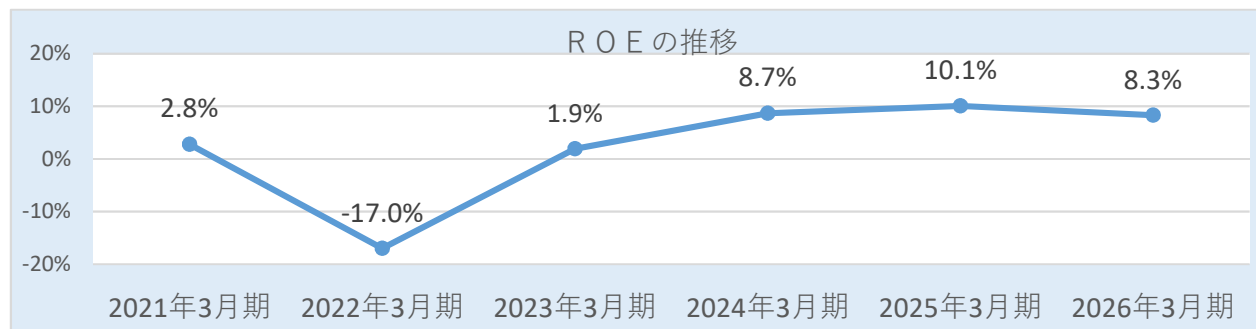
ROE は、
収益力向上に関する各種取り組みにより、目標値8%以上を継続しています。

※2 株主総会上程予定

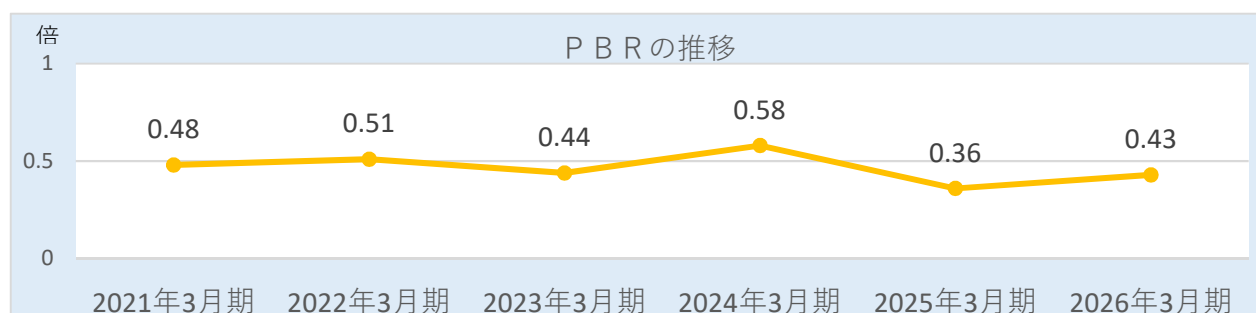
◎現状分析①

ROE目標は3期連続で達成、一方でPBRは1倍未満が継続

- ・ PBRを向上させるためには、先ずは収益力の向上が最優先との認識の下、ROEを指標に、継続して8.0%以上の達成を目指しております。株主資本コストはリスクフリーレート（国債利回り）の急上昇により、現状ではROEをやや上回っていることを踏まえ、さらなる収益性の向上に努めてまいります。目標水準(8%以上)は据置きとしますが、その継続実施には徹底して拘り続けてまいります。
- ・ PBRは0.43倍に止まりました。上記の安定した業績に加え、当社の将来性を見据えた投資等の実施、また、その適切な説明(IR)等を通じPERの引上げ・PBRの向上に努めてまいります。



2026年3月期も収益力向上に関する各種取り組みが結実し、目標の8%以上を達成いたしました。



2026年3月期も指標の1倍を割る結果となっており、今後もその向上に努めてまいります。

◎現状分析②～解決の方向性

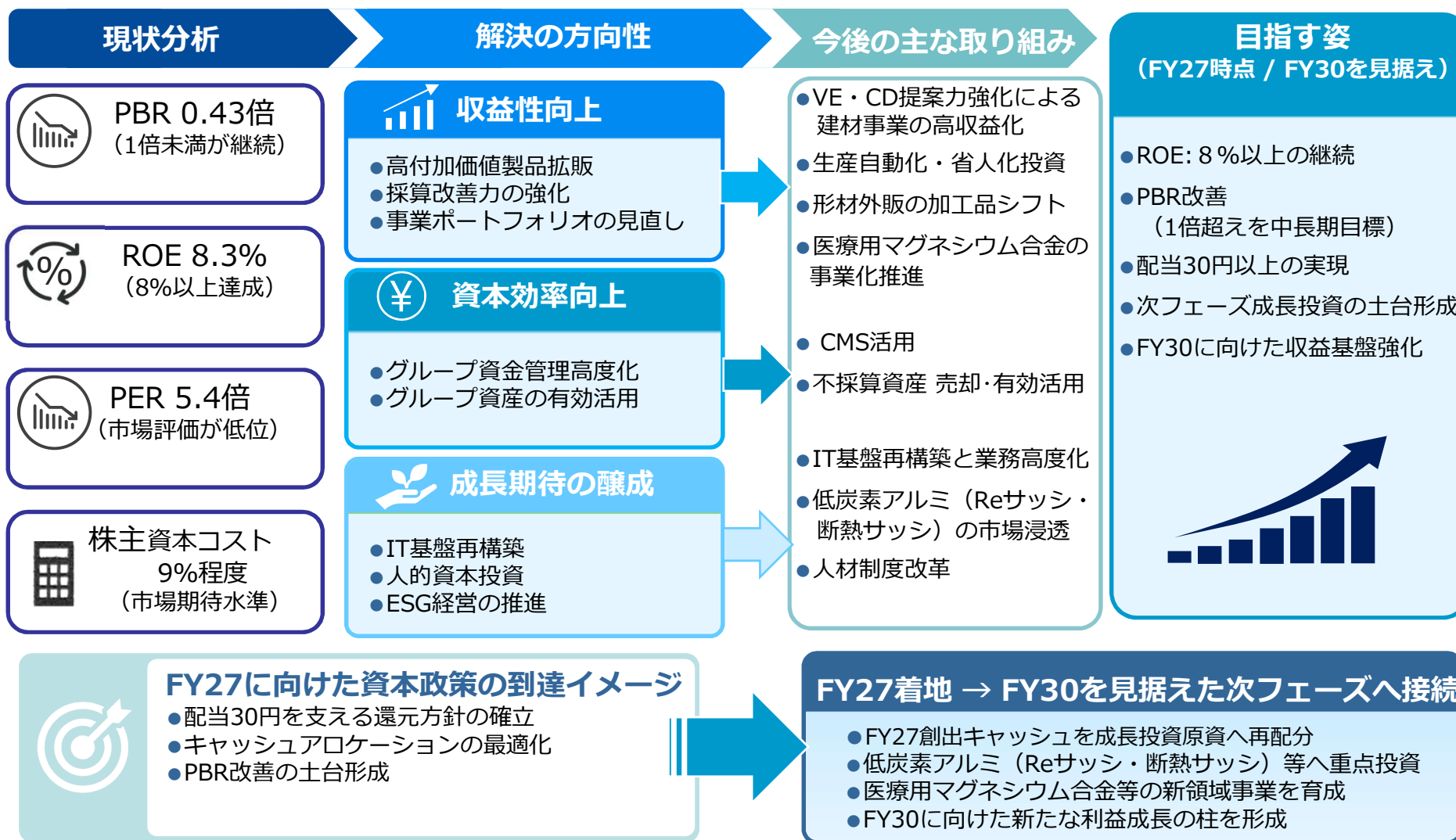
ROE8%以上の維持・向上に加え、収益力に見合う株価の実現を目指し、財務・非財務両面から企業価値の向上に向け、「中期経営計画」を推進中

【求められるもの】				【今後の対応・新中計】			
PBR 株価純資産倍率 (株価÷1株あたり純資産) 2025/3末:0.36倍 2026/3末:0.43倍	ROE 株主資本利益率 (当期利益÷純資産) 2025/3期: 10.1% 2026/3期: 8.3%	売上高当期利益率 (当期利益÷売上高) 2025/3期: 2.1% 2026/3期: 2.0%	利益率向上 コスト削減	個別施策	事業ポートフォリオ戦略	キャッシュ・アラケーション	
		×	総資産回転率 (売上高÷総資産) 2025/3期: 1.2倍 2026/3期: 1.2倍				資産効率向上
		×	財務レバレッジ (総資産÷純資産) 2025/3期: 3.9倍 2026/3期: 3.5倍				株式政策等
	×	株価 2025/3末: 667円 2026/3末: 868円	当社の将来性 株主価値向上				
	PER 株価収益率 2025/3期: 3.8倍 2026/3期: 5.4倍	÷					1株あたり純利益 2025/3期: 176.4円 2026/3期: 161.6円

ESG
人的資本
IR
その他

2. 中期経営計画の進捗状況

概要：諸施策を通じROE8%以上の継続と収益力に見合う株価の実現を目指します



安定的なキャッシュ創出力の実現に向け、成長投資と資本効率改善に優先配分し
FY30に向けた利益成長と株主還元余力の拡大を実現します

キャッシュ創出（FY25～27累計）

キャッシュの使途

営業CF
VE/CD・案件採算改善・事業ポート見直しによる創出力強化

**遊休資産
保有資産見直し**

**CCC改善
グループ資金管理高度化**

財務CF



成長投資（最優先）
F30達成に向けた利益成長ドライバーを強化

90億円⇒100億円

- 本社機能集約（増額主因）
- IT基盤再構築（増額主因）
- 生産自動化・省人化・DX化
- 新領域展開（医療用マグネシウム合金等）
- 低炭素アルミ
- 人的資本投資
- 高付加価値商材

維持更新投資
安定稼働と競争力維持を支える基盤整備

90億円⇒90億円

- 老朽化設備更新
- 法令対応更新

株主還元（安定・継続）
安定還元と資本効率向上を両立

10億円⇒11億円以上

- 安定配当の維持
- 持続的な株主還元の強化
- 配当30円以上の目標（FY27）

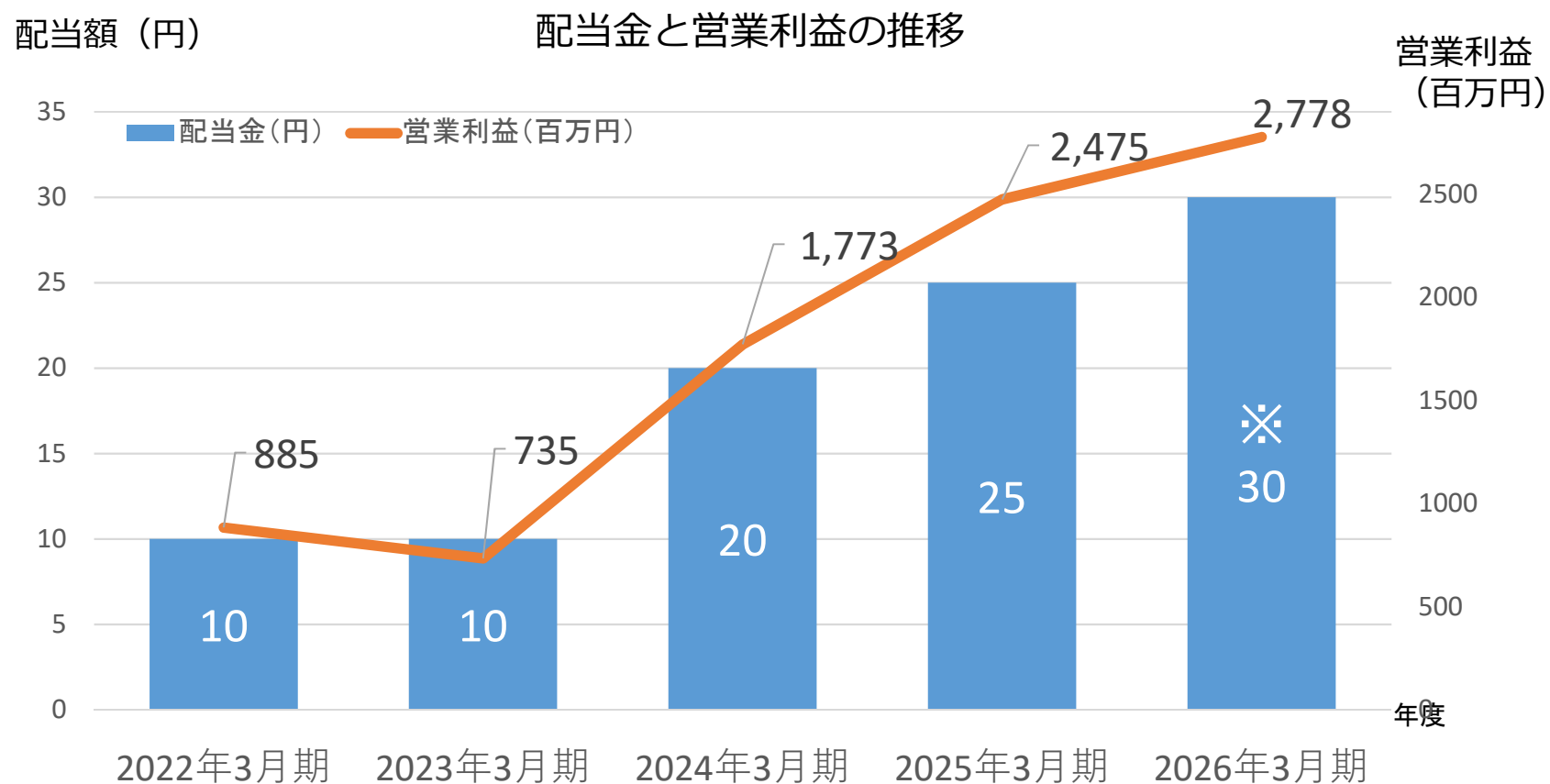
中計当初アロケーションとの差分を踏まえ、成長投資を優先しつつFY27に30円以上の配当を実現

○各施策の進捗状況

収益性向上（施策の概要）	現況	FY27に向けた対応
建材VE・CD提案浸透と高付加価値活動の徹底	☀ 順調	VE・CD提案浸透に加え、案件振り返り等を通じた提案高度化により高付加価値活動を継続強化
生産自動化・省人化	☀ 順調	不良率低減に向けた前工程改善と、複雑形状を踏まえた自動化対象工程の見直しを進め、FY27の効果発現につなげる
事業ポートフォリオ見直し （型材販売から加工品へシフト）	☁ 一部遅れ	高付加価値の新製品量産立上げと提案営業強化により、加工品比率の回復と採算改善を推進
海外拠点有効活用	☀ 順調	不二サッシフィリピン、設計センター人員増強による体制強化
営業用倉庫拡充、積載効率の更なる追求	☀ 順調	千葉事業所内の営業倉庫新設により、物量は増加
医療用マグネシウム合金事業化の推進	☀ 順調	共同研究開発契約に基づく開発推進を計画通り進め、次期中計での事業化フェーズ移行につなげる

資本効率向上（施策の概要）	現況	FY27に向けた対応
グループ資金管理高度化 （CMS活用・資金効率向上）	☀ 順調	CMS活用の深化とグループ内資金配分最適化を進め、法令順守を前提とした資金効率向上を継続推進
資産有効活用 （遊休資産売却・政策保有株見直し）	☀ 概ね完了	FY25で概ね資産有効活用は実施済。FY26-27は残余資産の機動的見直しを継続
成長期待の醸成（施策の概要）	現況	FY27に向けた対応
IT基盤再構築 （共通基盤化・業務標準化）	☁ 一部遅れ	共通基盤化を前提に業務運用の標準化を進め、必要機能活用による全社展開で費用上振れの抑制を図る
低炭素アルミの市場浸透	☀ 順調	Reサッシ拡販に加え、高断熱商品のラインナップ拡充により高付加価値案件の獲得を加速
人材制度改革 （人材輩出サイクル構築）	不二サッシ(株) ☀ 本体先行	不二サッシ(株)本体での人事制度（賃金・評価）定着を進め、FY26以降は関係会社展開を通じたグループ横断人材活用へ拡大
施工技能者不足への対応 （育成の仕組み構築・運用）	☀ 順調	不二サッシSCを核とした集中研修・OJT運用を拡大し、FY27に向け施工能力の安定確保と技能伝承を加速
グループ体制見直し （統廃合・標準化・ガバナンス強化）	☂ 具体化前	FY26で標準化・機能集約の方向性を具体化し、グループ横断人材活用を起点にFY27の経営効率化につなげる

業績改善に伴い増配に加えて追加的な株主還元を検討し株主価値向上に努めます。



3. その他(株主総会上程事項等)

○6月の株主総会においては、決算状況に加え以下の項目を上程させて頂く予定です。
詳細は東証開示資料(5月14日付)および株主総会招集通知(6月上旬開示・発送予定)
をご覧ください。

増配について

前年度決算を踏まえ、剰余金の**配当を1株あたり25円から30円へ増配**したいと考えております。
IT基盤再構築や生産設備の省力化・省人化投資に加え、さらなる人的資本への投資など所謂「成長投資」へ確りと対応したうえで、株主の皆さまへの還元も強化してまいります。
こうした取組みの原資を確保すべく、本年度も鋭意収益確保に向け取り組んでまいります。

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ